

93年12月10日(金)
PM 2:00 ~ PM 6:00
新宿エルクワ-25F

人相・家相・土地相

気軽に手が付けられ、タメになる話

講師：竹村亜希子先生
(占いの玉手箱代表)

1 人相と家

だいたい家相に凝る人は新築の8,000万円以上かける人たちが多く、分譲住宅を買う人、マンションを買う人は家相をあまり気にしない。2,000万円以下の人はほとんど気にしないといつてよいのではないか。リフォームの2,000万円はかなり高額だが、一般的には家相をあまり気にかけていない。しかし、水まわりと家相は密接な関係があるので、今日のお話は知っているとお客さまとの会話が打ちとけるような、家相の軽い話をしておく。家相を本格的に学ぶと、2時間でマスターできるようなものではない、という意味もある。家相は何千年もの歴史をもち、根拠がある。5行陰陽説に基づいた空気、水、火、光等が家相学の礎になり、発達してきた。文明の発達と共に、家相の意味も変わることもある。たとえば、トイレ。現代はほとんど水洗トイレ。昔は、内トイレでなく外トイレ。南面の直射日光がガスを発生させ、空気の流れて人体の脳に影響を与えていた。そこで内トイレになってから北側にトイレを設置するようになった。

さて、人相と家との関係について話をしよう。

人相は、いつも変わり、良くも悪くもなる。そして、身体の状態を表すシグナル役。占いでは、小人形法または、望診法ともいう。

